

緊急やることリコメンダー

目 概要

被災した瞬間、混乱の中でなにをどの順番で行えばよいかを正しく判断するのは、難しい。
被災した場所、シチュエーション、災害の状況などから、その人が何をどのような順番で行うとよいかを教えてくれるアプリを提供する。

解決したい課題：アイデアで解決したい課題は何で、それをどうしたいですか？

被災した瞬間、混乱の中でなにをどの順番で行えばよいか（あるいはなにをすべきでないか）を正しく判断するのは、難しい。

ITによって誰でも速やかに正しく行動を起こせるようにしたい。

解決方法：課題をどうやって解決しますか。骨子を記載ください。

被災した場所、シチュエーション、災害の状況などから、その人が何をどのような順番で行うとよいかを自動的に判断、プライオリティー順に生成されたToDoリストを提供する。

類似（独創性）：現在、このアイデアと類似する仕組みがあれば記載ください（検索してみてください）

災害時の行動に関する一般的なリストは存在するが、個人個人の被災した瞬間に適したToDoリストを自動生成する仕組みは、見当たらなかった。

有意性：既に存在する類似の仕組みと比べて、どこが優れていますか（存在している場合のみ記載ください）

実現方法：どのように実現するか、できるだけ具体的に記載ください（ファイル添付も可）

- 災害時のシチュエーションをピックアップする
 - ・ 災害の程度（震度など）
 - ・ 天候（雨、気温など）
 - ・ 時間帯（昼、夜）
 - ・ 被災した状況（自宅、路上歩行中、地下鉄乗車中、自家用車運転中など）
 - ・ 被災者本人について（年齢、性別、運動能力、障害の有無など）
- など
- それぞれのシチュエーションの組み合わせごとに、ToDoリストを作成
- スマホアプリが、事前登録情報とGPS情報などのリアルタイム情報によって、利用者の状況を把握
- 被災発生時に、最も適したToDoリストを表示する
- 判断に用いたシチュエーションは表示および編集可能とし、アプリの自動判断が的確でなかった場合は、修正できるようにする

ケース1

10分以内に大雨による浸水が起こる恐れあり

自宅

木造戸建て

↓

□ 即時 高台の〇〇小学校へ避難



ケース2

10分以内に大雨による浸水が起こる恐れあり

自宅

鉄筋コンクリートマンション8階

↓

□ 自宅にて待機



ケース3

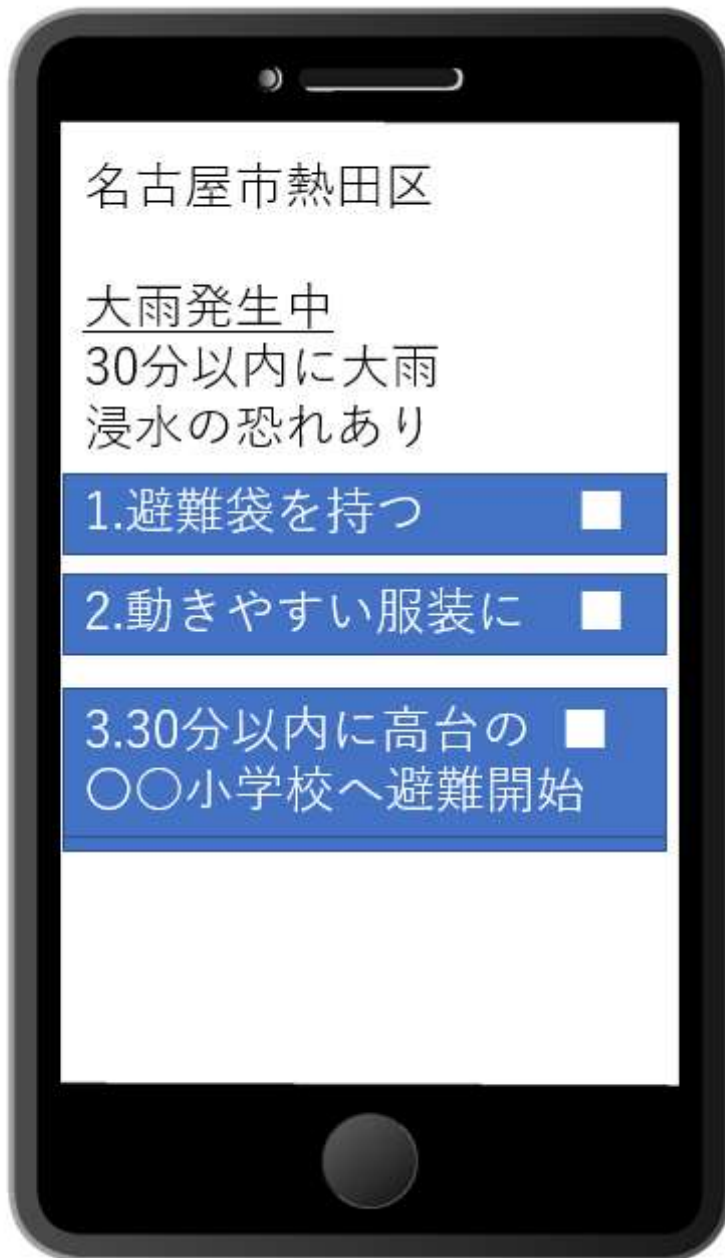
30分以内に大雨による浸水が起こる恐れあり


自宅

木造戸建て

↓


- 避難袋を持つ
- 動きやすい服装に着替える
- 10分以内に高台の〇〇小学校へ避難開始



 **課題・障壁**：実現する上で課題となることは何ですか、それをどうやって克服しますか

課題・障壁：自動生成されたToDoは、人によって適切でないケースが起こりうる

- 克服方法：
- ・いつでも本人によるシミュレーションが行える
 - ・シミュレーション結果を見て、本人がToDoの調整をすることができる
 - ・個人による調整結果は、システムで収集され、もととなるToDoデータの改善にも利用されていく

 **期間・コスト**：実現に必要な費用と期間はどれくらいでしょうか。初期リリースとそれ以降など記載ください

初期

期間：6ヶ月

災害専門家費用

：1,000万円

開発費用：3名×3ヶ月+5名×3ヶ月=24人月

：約5,000万円

維持およびバージョンアップ

月額：500万円（インフラ100万円+2人月）



未来像：実現したとき、人々がどのように恩恵を受けて幸せになれるか、理想像をお書きください

個人の状況に合わせたToDoが提示され、必要な対応を最短で行うことができるため、誤った情報や対応のリスクを低減し、災害被害の最小化が期待される。